

# 平成30年度 小川中学校運営ビジョン

## 地域・学校の実態

- 平成24年度、統合50周年を迎えた伝統ある学校である。
- 学区は、農山村が中心で自然豊かであり、かつ広い。
- 生徒数は減少している。残っているが、保護者の価値観は多様化してきている。
- 保護者は共働きがほとんどである。
- 生徒は大変素直で、活動にはまじめに取り組む。
- 反面、指示待ち姿勢で、よりよい活動を目指す意欲が足りない。
- 学習面は、自己課題を持って主体的に取り組む意欲が弱い。
- 体力面では、肥満が増えていることと柔軟性に課題がある。

## ＜教育目標＞ 未来 自主 感性 敬愛

### 平成30年度の重点目標

1. 確かな学力を修得し、自己実現に向け主体的に努力する生徒の育成
2. 感動し学び取れる、豊かな心と瑞々しい感性を持つ生徒の育成
3. 思いやりのある礼儀正しい生徒の育成
4. 心身の健康のため、強い意思をもって主体的に活動できる生徒の育成

## 学校経営の基本

### 【組織体制】

- 組織的な指導体制
- そのための報・連・相の徹底

### 【教育の重点】

- 知・徳・体・バランスの取れた教育
- 体験を通して学ぶことの重視

### 【生徒指導】

- 認め、励まし、よさの伸ばす指導
- 規範意識と安全意識の向上

### 【事故防止】

- 学校事故、不祥事の絶無
- 安全で快適な学習環境づくり

### 【教職員の資質の向上】

- 自己課題を持った研修
- 内外に開いた研修

### 確かな学力の修得

- 学びのスタンダードを基盤とした授業の展開
- 本時のねらいを明確にした授業
- 2分前着席で、前時の復習と授業に臨む態勢づくり
- 言語活動を取り入れた探究的な学びの工夫
- 互いに教え合い、学び合う授業の工夫
- 定着確認シートを効果的に活用した指導
- 「分かる、できる、楽しい」授業のための校内研修の推進
- 基礎学力定着に向けた適切な家庭学習の課題提示
- 「家庭学習のすすめ」を通じた自主的・主体的な家庭学習
- 家庭との連携による家庭学習の習慣化

### 豊かな心と瑞々しい感性の育成

- 自己の生き方についての考えを深められる道徳の授業の実践
- 「考える道徳」「話し合う道徳」に向けた授業の工夫
- 生徒指導委員会等による早期発見と組織的な対応
- 目標を明確にした生徒会活動の実践と目標達成による自己肯定感の伸長
- 生徒会専門委員会活動をした責任感や自主性、創造性の育成
- 生徒が積極的に企画・運営に関わる学年・学校行事を通じた、感動の共有
- 生徒の「よさ」を「認め、褒めて伸ばす」ことを基本とした生活指導の推進
- ボランティア活動への積極的な参加の奨励

### 思いやりと礼儀正しい生徒

- 朝の会の「感謝タイム」による思いやりの心育成と自己肯定感の高揚、能動的な生活態度の育成
- 帰りの会「よかった探し」による長所を見る目の育成と自己受容、所属感の高揚
- 生徒会の「あいさつ運動」の校内外での実践
- 縦割り班による清掃活動による異学年の生徒と人間関係の作り方の学習
- 地域行事への積極的な参加による地域の一員としての自覚の高揚と多様な人との関わりを通じた公衆道徳や礼儀等の実践的な学習

### 健康のために活動できる生徒

- 朝の特設駅伝部活動の奨励等、体力づくりに取り組もうとする態度と気力の育成
- や活動の活動を通して、柔軟性や敏捷性の向上
- 目標とその実現に向けた手立てを明確にした部活動の推進
- 早寝・早起き・朝ご飯の習慣の確立をめぐり、保護者との連携・協力した取り組み
- メデイアとの接触時間の減少をめざした、ノーメデイアデーの積極的な推進
- 性教育や情報モラル教育、安全教育などの充実と、自分の命を自分で守る意識の高揚